



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

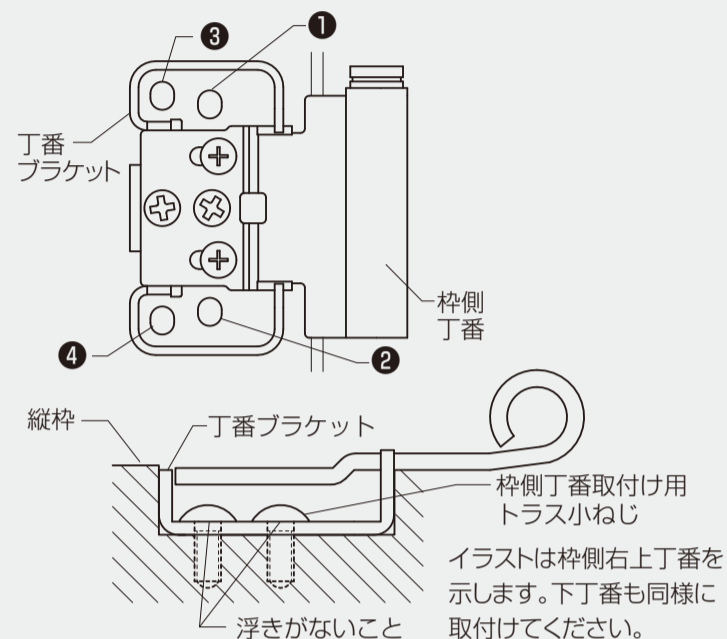
●枠側丁番のねじを取付ける際は、A図の①～④の順にねじが丁番ブラケット面に当たるまで確実に締込んでください。

①～④の順に取付けをおこなわないと、丁番傾きの原因となり、取付け後に本体が垂下がり、枠や床を傷つけるおそれがあります。

●本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。本体脱落の原因につながります。

●建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

■A図(枠側丁番取付け詳細)



■取付け上へのお願い

●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

●丁番取付け前に枠側・本体側羽根の刻印を見て、丁番の上下左右を確認してください。本体取付け時には、同じ刻印同士になるように、取付けてください。

●ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、本体の上下を確認してください。

●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

●各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。

●丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。

※建設工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

●本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。

●製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

■部品・部材の明細

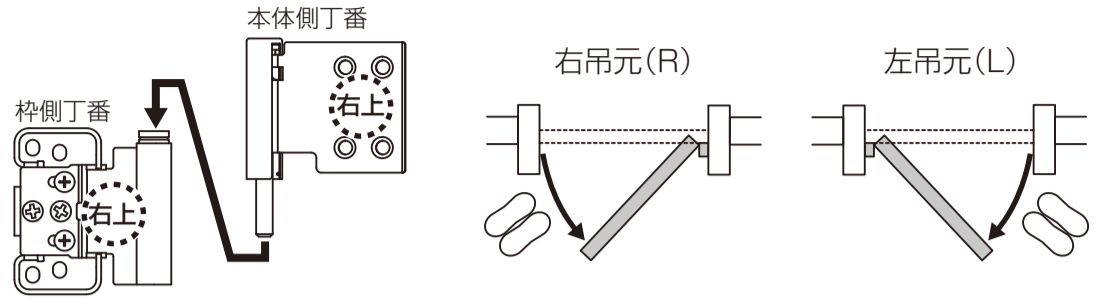
■部品セット(有償部品セット)

名称	本体側丁番(上)	本体側丁番(下)	枠側丁番(上)	枠側丁番(下)	ブラケットカバー	枠側丁番取付け用トラス小ねじ M4×10	ドア本体側丁番取付け用皿タッピンねじ φ4×20	窓本体側丁番取付け用皿小ねじ M4×20	取付け説明書
姿図									
ドア用	1個	1個	1個	1個	2個	8本	8本	—	1部
両開き窓用	L・R各1個	L・R各1個	L・R各1個	L・R各1個	4個	16本	—	16本	1部

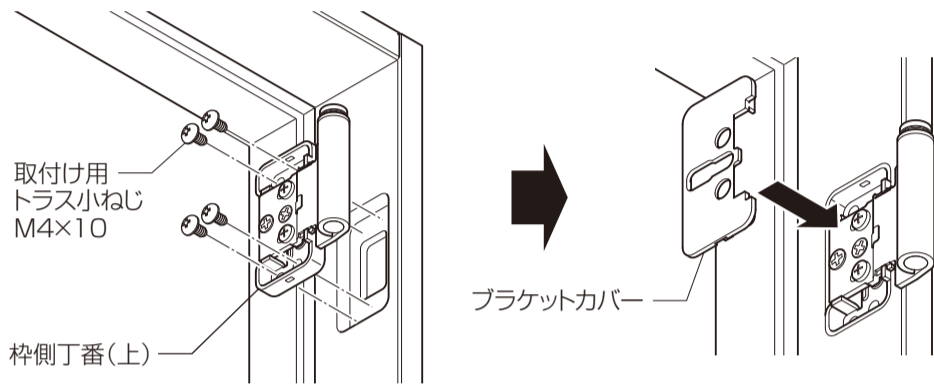
■ 枠側丁番の取付け

お願い

- ※ 丁番取付け前に枠側・本体側羽根の刻印を見て、丁番の上下左右を確認してください。
- ※ 右吊元には右用丁番、左吊元には左用丁番が取付きます。
- ※ 本体取付け時には、同じ刻印同士になるように、取付けてください。

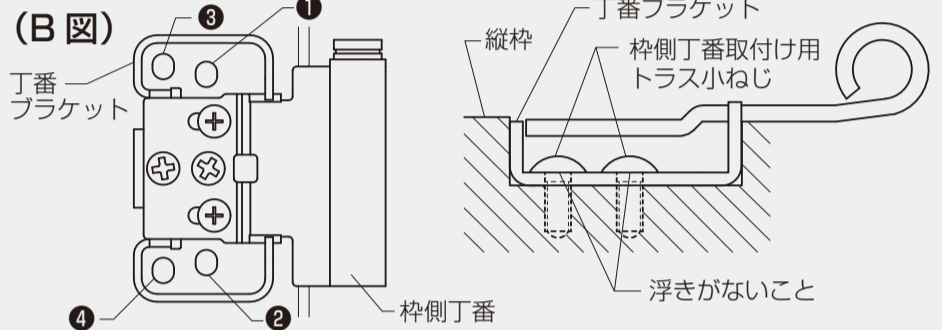


- ① 丁番側縦枠に、枠側丁番を同梱のねじ(トラス小ねじM4×10)で取付けます。
※ その際、右の注意点のとおり取付けてください。
- ② ブラケットカバーを「パチッ」と音がするまでしっかりはめ込みます。



▲ 注意

- 枠側丁番のねじを取付ける際は、B図の①～④の順に、ねじが丁番ブラケット面に当たるまで確実に締込んでください。①～④の順に取付けをおこなわないと、丁番傾きの原因となり、取付け後に本体が垂下がり、枠や床を傷つけるおそれがあります。



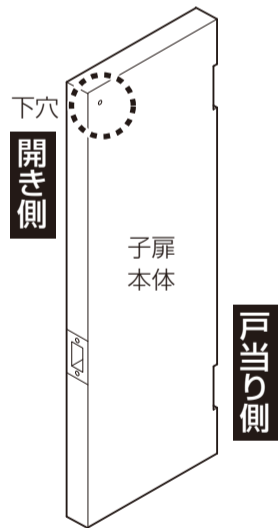
イラストは枠側右上丁番を示します。
下丁番も同様に取付けてください。

■ 本体側丁番の取付け

- ① 本体に、本体側丁番を同梱のねじ(皿タッピンねじφ4×20、両開き窓の場合は皿小ねじM4×20)で取付けます。
※ ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、本体の上下を確認してください。

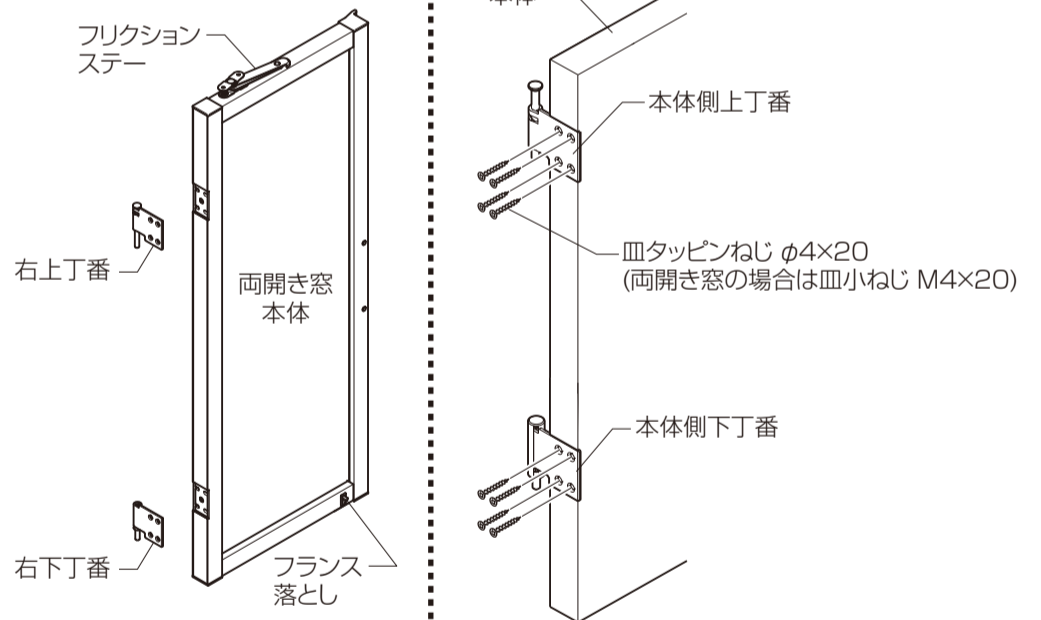
■ 親子ドア・両開きドアの場合

- ※ 子扉本体上部には上側端部ピース取付け用の下穴があります。



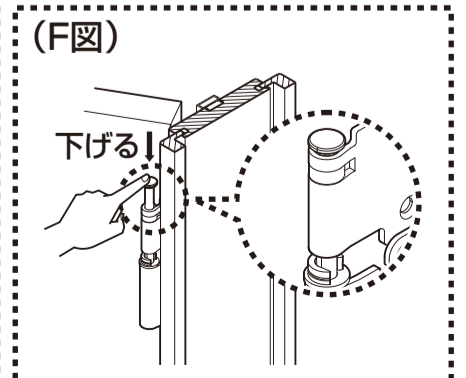
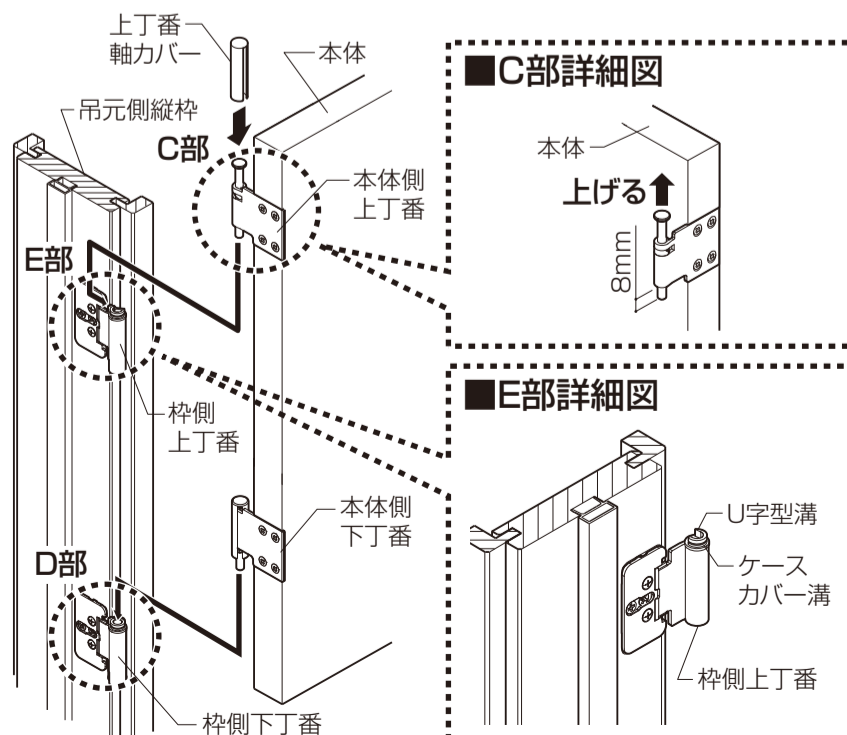
■ 両開き窓の場合

- ※ 両開き窓本体上部にはフリクションステーが取付いています。
- ※ フランス落とし付き本体には、必ず右側丁番を取付けてください。



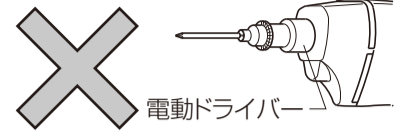
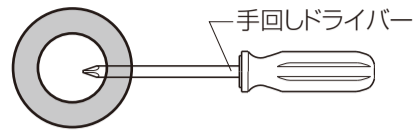
■ 本体の取付け

- ① 下丁番軸カバーを上げます。
- ② 上丁番軸カバーを外してください。
- ③ 本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(C部)
※ 軸は8mm程残した位置で止まります。
- ④ 本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(D部)
※ 本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑤ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、本体を吊込みます。(E部)
- ⑥ 本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(F図)
- ⑦ 上丁番軸カバーを取付けます。
※ 枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑧ 下丁番軸カバーを下げます。
※ 枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑨ 本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。



■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上側に3mm、下側に3mmです。

不具合例

1. ドアの上部が枠に当たる。

調整方法

- ①本体側下丁番の軸カバーを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③軸カバーをはめる。

不具合例

2. ドアの下部が枠に当たる。

調整方法

- ①本体側下丁番の軸カバーを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③軸カバーをはめる。

左右の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、戸先側に2mmです。

不具合例

1. ドアの戸先が枠に当たる。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

不具合例

2. ドアの戸先のすき間が大きすぎる。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを戸先側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(4mm)、後(1mm)です。

不具合例

1. 戸先側の枠が前に出ている。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

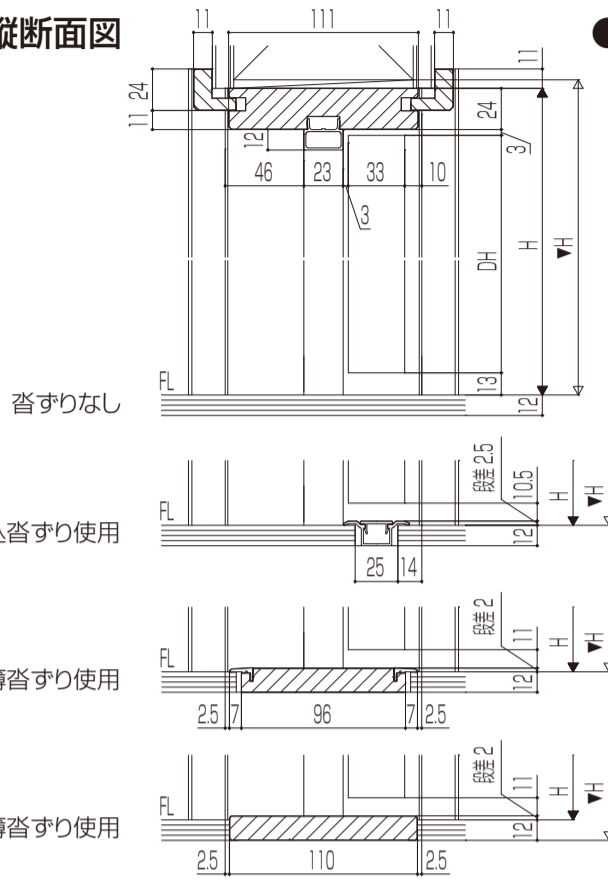
ドア建付け調整方法動画
 5344728746001

■納まり図

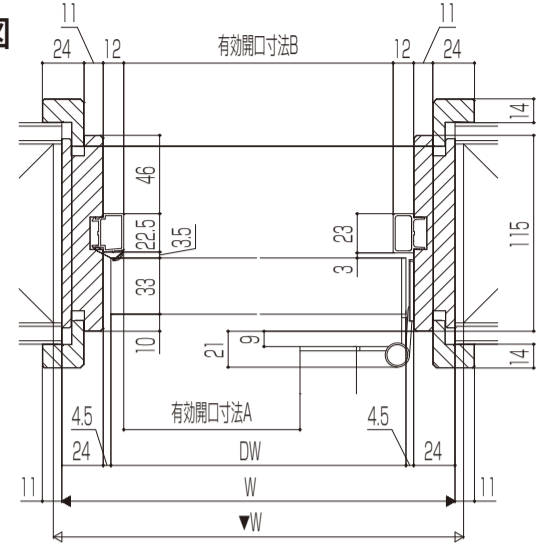
■標準／トイレドアユニット ケーシングタイプ

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W055 (648)	521.5	576
W06 (734)	607.5	662
W065 (754)	627.5	682
W07 (780)	653.5	708
W08 (824)	697.5	752
W09 (868)	741.5	796

●縦断面図



●横断面図

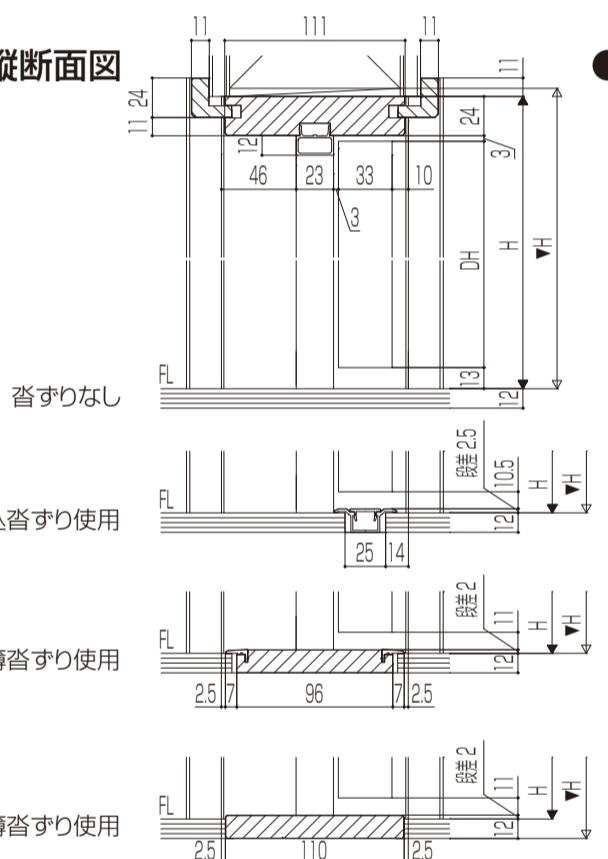


※枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

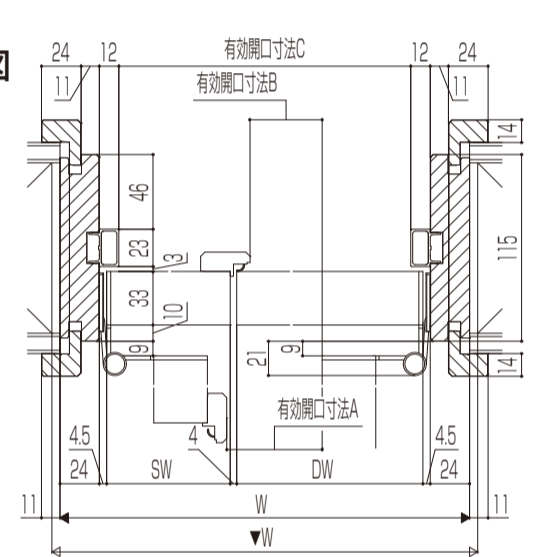
■親子ドアユニット ケーシングタイプ

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12 (1188)	995	653	1116

●縦断面図



●横断面図

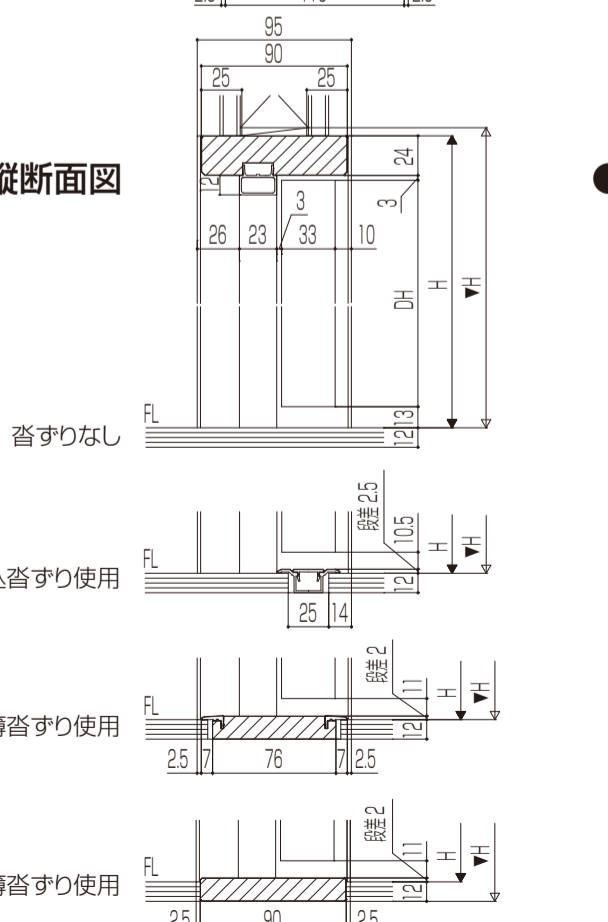


※枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

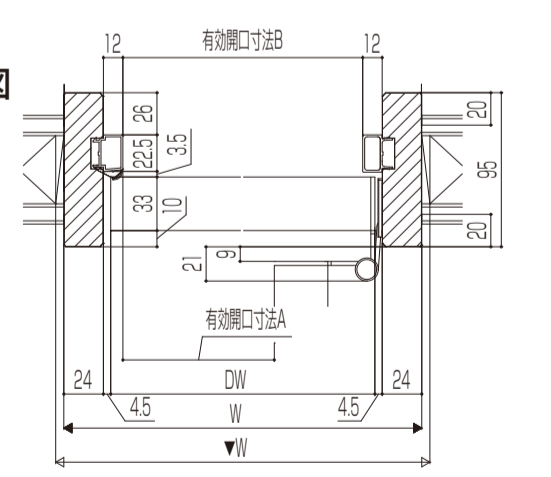
■標準／トイレドアユニット (NC95)

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W055 (648)	521.5	576
W06 (734)	607.5	662
W065 (754)	627.5	682
W07 (780)	653.5	708
W08 (824)	697.5	752
W09 (868)	741.5	796

●縦断面図



●横断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。